

サポーターズミーティング 議事録

日時：2009年8月14日（金）18：30～22：00
会場：松山市総合コミュニティセンター 3F 大会議室

出席者

■愛媛FC（2名）

代表取締役社長 亀井 文雄

ゼネラルマネージャー（GM） 佐伯 真道

① 社長の挨拶

本日は、みなさんお忙しい中、またお盆の真っ只中に、大勢の方に集まっただきありがとうございます。日頃から、ご支援・ご声援を賜りまして、改めて感謝申し上げます。先般、8月1日の四国ダービー徳島でのアウェイゲームでは、大敗しましたこと、本当に皆様には申し訳なく思っております。また、第2クールにおいて成績としては1勝しかできていないという悲惨な結果になっていることにつきましても、本当に申し訳なく思っております。今日、このようにしてサポーターの皆さんと意見交換をさせて頂く中で、私自身の考え方、チームの考え方、そして皆さんの考え方を含めた建設的な意見を出して頂ければ非常にありがたいと思っておりますので、何卒お願いしたいと思います。

その前に、みなさんも大変ご承知かもしれませんが、愛媛FCの生い立ちと考え方というものを簡単にご説明させて頂きたいと思っております。2001年JFLに参入をいたしまして2006年にJリーグに昇格いたしました。この間、Jリーグ昇格ということについて、大きな目標を掲げ私どもといたしましても、サポーターの方のご協力を頂きまして何とか昇格できましたけれども、昇格した年、2006年には私自身、みなさん個々に、お一人お一人にはお話をしておりませんが、マスコミを通じてJ2へ昇格した今後の抱負としては、やはりJ1への昇格を目標としたいと、それについては2、3年では難しいと5年プランのスパンで昇格を目指したい、それと同時に若手の育成、それと愛媛FCにいた選手が海外に羽ばたいて、日本代表や海外へ羽ばたけるような選手を送り出したいというお話をしました。我々は、毎年、年度の目標と3年くらいのスパンをもとにアクションプランというものを作っております。そのような中で、今年、2009年シーズンについては、順位については1桁9位以内を目指そう、それと同時に2010年は5位以内、2011年には3位以内と昇格できる可能性のある順位にもっていきることができればというような目標を立てました。そして、皆さんご承知の通り、昨年のリーマンショックの影響で、スポンサーの皆さんも、特にユニフォームスポンサーの方々には減額せざるを得ないということもございました。そのような中で、我々は年間4億8千万の事業規模でやっております。そのような中で、何とかやりくりをしていかなければならない、そういうことを踏まえて我々は、会社ですので採算をとれるような体制と、目標の順位というものをやっていかなければいけない。これは、今シーズンが始まる時に、望月監督とも状況の説明と、そのやり方としては最低人数ではあるがシーズン23名くらいから何とかやりながら、状況を見て補強していくような方法を取った方が良くはないかという話し合いを行いました。

そして、滑り出しは皆さんご承知の通り、好調に滑り出したわけですが、ケガ人の問題、これは予想はしておりましたが、そこまで多く出るというところまでは予測はできておりませんでした。その中で、2人を補強するというような形で対処していきながらも非常にチーム力が落ちたという部分、これは監督、選手という部分と、フロントという部分に責任はあるかと思っております。

我々は、基本的には目標に対して何とかしていこうということで、考えいろいろと努力はしているつも

りです。そのような中で、愛媛 FC の問題点というのを皆さんお分かりだとは思いますが、再度私の方から申し上げたいと思います。1つは、私自身、愛媛の県民サッカークラブ愛媛 FC ということで、2001 年からチームの代表を務めさせて頂いております。その時点から、県民サッカークラブということ色んな場所で申し上げております。そういう中で、やはり愛媛県の県民の皆様を支えて頂けるチームでなければならない、また逆に県民の皆様から元気を与えられるチームでなければならないということをモットーに、また考え方としてやってきました。ただ問題は、やはりスポンサー関係、年々増えてはおります。ただ金銭的な問題としては、なかなか大きな数字にはなっていない中で、チームのやりくりをしていかななくてはならない、そういう点を踏まえて我々としては、県・市・町、みなさんからも出資をしていただいている中で、赤字を出すわけにはいきません。そういう問題では、なかなか資金力は増えないチームであるという問題点が1つございます。

2つめは、スタジアムの立地問題については、我々も常日頃から、J2 に昇格する前から県・市に対して、何とか街の中で専用のスタジアムを建設できる方法はないのかと、そういうことを今でも意見やお願いを申し上げております。今の、砥部という地域だと、特に水曜日のナイターということになると、皆さんもお仕事をされながら大変な状況の中で、競技場まで駆けつけて頂くというのは、我々も大変恐縮しております。何とか、街の中で交通のアクセスが良い場所で、試合をしたい、大勢の方に集まって頂きたいというのを考えると、現在の立地条件は非常に厳しいところがあります。その問題と、観客動員というのは当然、我々の努力不足というのものもあるかもしれませんが、やはり立地の問題も含め、なかなか思うように伸びないという部分、それは我々も非常に苦慮している状況であります。そのような問題点を、みなさんをお願いをして、協力をして頂ければ本当にありがたいと思います。そのような中で、愛媛 FC という、おらがチーム、この地域のチームとして皆さんに愛され応援をして頂けるチームに早くなっていかねばいけないと思っています。そういう意味で、色んな点で、問題点・課題がございます。そのような中で、今日のようなサポーターミーティングで、皆さんのご意見や我々の考え方も説明できる機会が設けられたことは、大変良かったと思います。皆さんからの建設的なご意見をどんどん出して頂けたらと思っていますので、よろしくお願いいたします。

②GMの挨拶

私は、愛媛 FC の GM として常勤でチームそしてクラブを見させて頂いてます。社長は、常勤ではないということで、非常に苦しい立場になっております。実際、現場で指揮をとっておりますのは私であり、今回の観客動員並びに成績については私に責任があると思っております。今日は、意見交換ということで私を中心に、できる範囲で誠実にお答えしたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

<質疑応答>

サポーターA：チームは今シーズンに入ってケガ人が多い、観客動員の伸び悩み等の問題が挙がっているが、それに対して株式会社愛媛 FC 内でも、組織としての問題点や、その問題点が挙がってきたことに対して分析、またそれに対する解決法などの共通認識を皆さんで持たれているのか、個々が問題の詳細に対して認識があるのか、また亀井社長が考えられた解決策とか問題点など挙がってきたものが、トップダウンのように皆さんに浸透しているのか、リスクマネジメントというものだと思うが、経営に携わっている私としても、マネジメントシステムというものについて PDCA という形でそのサイクルを回しながら改善を図っていくという、問題に対して改善を図っていくのだが、どのような体制を取られているのか伺いたい。よろしくお願いします。

愛媛 FC 亀井：現状の、ケガ人の問題、途中でのチーム状況よっての対策など、そういうのはある程度想定しながら、こういう場合にはこのように対処しようというふうに社内では話し合いをしながら進めている。ただ、ケガ人については、当初よりも我々が想像していたよりも人数が多く出たということについては、正直意外であった。そのための対処をやはりとらなければいけない。その部分というのは、レンタル選手 2 人の補強、また先日は高知大学の中野選手などの補強を含めて、対応した。また、弱い部分というのはケガ人が出た状況によってあるわけであるが、これに対して我々は少なからずとも、完璧とは言えないが各状況に合わせてどのように対処していくか、社内ではコミュニケーションがとれていると思っている。結果として、上手くいかなかったというケースが、今回のケースではないかと思っている。

観客動員については、今年だけではなく J2 昇格以来、1 試合平均 5 千人という目標を立てている。しかし、現実、1 度もその目標を達成できていないことについては、私自身情けなく思っている。ただ、色々な形の努力を全くしていないということではない。やり方の問題ということはあるかと思う。

JFL 時代は、まず我々のサッカーを見てもらうということで、招待券を多く出した。J リーグになってからは、J リーグの本部からも、むやみに招待券は出さないように、ということもあった。そのような狭間の中で、我々は観客動員を何とかしていかなければいけないという葛藤が今でもある。そういう中でもチームが強くなれば自ずと皆さんが、遠くても応援に来てくださるというはあるかと思う。また、アクセスの問題では、近ければ多くの方に応援に来て頂けると思う。そういうことも含めて、要因は一つ一つあると思うので、それに対処していく事はすでにやっているつもりです。逆に、今まで声を大にしてサポーターの皆さんに観客動員の協力をして欲しいというのを、正式に申し上げてなかったことについては反省をしている。これからは、皆さんにもお願いをし、我々も努力をして目標以上の数字をあげることができればと思っている。

次に、色々な問題点についての PDCA のサイクルは、もちろん私どもは常にそれをベースに問題点を挙げ、計画を立てて行動し、またそれを見直していくという形ではやっているが、漏れている部分や行き届かない部分があったかと思う。これは、どこまで行っても 100 点満点にはならないと思うし、目標というのは常にまた次の目標が出てくると思う。そういう形も続けて行きたいと思う。

サポーターA：リスクマネジメントの点ではありますが、ケガ人が多数出たということに関して、なぜこんなにも多いのか、環境面で何か問題があるのではないかと心配している。環境が整っていないのなら我々も何とかしなければ、手助けできることがあればと思っている。どこが悪いのかをきちんと確認して欲しい。このシステムの中でこの際、他のクラブなどを盛り上げ、成功した人などによる外部監査なども取り入れてみてはどうか。

愛媛FC 亀井：環境面ではご承知の通り、トップチームには専用の練習場がない。そのため天然芝と人工芝を交えながら、様々な所に行っているのが現状である。Jリーグのプロとしては、当然、理想の姿ではないので、今後は専用の練習場が欲しいと思っている。アカデミーは形上、借り物ではあるが、何とか形になってやっているという部分があり、そのあたりをもう少し拡大して、トップチームから子供たちまで一貫した施設が欲しいと思っている。その中で、天然芝、人工芝を含めた環境面、そして独身の選手については寮などの施設を早く整えたいと思うが、そこまで着手できていないのが現状である。次に、外部監査についての質問であるが、いろいろと調べて、勉強してみようと思う。

サポーターB：なぜアウェイ戦（栃木戦）の前日にサポーターミーティングを開いたのか。

愛媛FC 亀井：8月1日の徳島戦に本日のミーティングを開く事を約束したが、少しでも早く開催した方が良かったと思っていた。お盆というこの時期の開催はタイミングが悪いとも考えたが、少しでも早い時期に開催した方がいいと思い、大変申し訳ないが、この日にさせて頂く事となった。

サポーターB：徳島はダービーの時はいろいろと動員のアピールを行っていたが、次の四国ダービーについてどう思われるか。

愛媛FC 亀井：徳島さんのやり方が全ていいとは思わないが、徳島さんに負けないよう頑張っていきたいと思う。また、PRに関してはプレス発表を通じてPRし、また選手を始めスタッフもしっかりとPRし、皆様にも動員のご協力をお願いさせて頂きながら行いたいと思う。

サポーターC：今回このような会はいいと思うので、定期開催を行って頂きたい。年に3回（シーズン前、半ば、シーズン後）定期的に行ってチームの考えをサポーターに発表する場の提供をお願いしたい。

愛媛FC 亀井：回数が多いから良いとは思わないが、明確なテーマがあれば開催の余地はあると思う。

サポーターC：社長が常勤ではない事に関して、今後兼任でチームを伸ばしていく自信はあるか。

愛媛FC 亀井：自信が100かと聞かれると、正直100とは言えない。今後常勤の体制がとれるよう、任せられる社長を育てていく義務があるので、早くそういった状況を目指したい。

サポーターD：チームがサポーターよりもスポンサーを見ているのではないかと感じる。また、今後はスポンサーも減っていくのではないかと心配である。提案ではあるが、サポーターがスポンサーになるような持ち株制度を導入して、県民全員で支えていけないだろうか。

愛媛FC 亀井：そのような持ち株制度についても将来的には考えていかなければならないと思う。スポンサーしか見ていないというご指摘に関しては、メインの責任企業という大企業のスポンサーさんが付いていない為、小口のスポンサーさんを多く集めていくしかない状況の為、ある程度そう思われても仕方がないのではないと思う。ただそういう中でも、スポンサーさんの数で言いますと年々増え続けている。もちろんサポーターの皆様も大切ですので、これからも支えて頂けたらと思う。

サポーターE：コアなサポーターの方とは違い、いろいろと外から見させてもらっている。結局サポーターは何をしたら良いのか、どんな協力をしたら良いのか、具体的な提案が欲しい。

スタジアムの盛り上げに付いても、サポーターとしてもいろいろと考えていきたい。たとえば、スタジアムで流れる曲などの選曲を募集するとか、あと、もう1人連れて来て頂くようにチケットを渡す事などできないものか。そういった細かい所から集客していく努力をして欲しい。

愛媛FC佐伯：今後テーマを決めた集客案を立て、皆様に集まって頂き、知恵を貸して頂きたいと思う。

愛媛FC亀井：スタジアムの中の事や、そういった細かい所からも改善できるよう、努力していきたいと思うので、今後どうぞよろしくをお願いします。

サポーターF：松山市内にユニホームを着た方々が少ないではないか。もっと街中にユニホームを着て行って、市民にアピールしてみようではないか。

サポーターD：ユニホームを着て街中に出るのは、確かにアピールにはなると思うが、私自身、ユニホームは戦闘服の一つであるので、そういった意見もある事をご理解いただきたい。

サポーターG：フロント側からの建設的な意見や、明確な目標がハッキリと見えない。もっとしっかりした事業提案をして欲しい。また、シーズン前と後にその目標に対す意見交換会を行って欲しい。そして、その目標に対して、達成できたかどうかの責任の処遇をどのように考えているか。

あと、駅から非常に遠いので、無料シャトルバスや、¥100バスなどをご検討頂けないものか。

愛媛FC亀井：順位については明確な目標を掲げている。また、明確には発表してないが、資金については、3年後J1昇格を目指す頃には7億くらいまでには伸ばしたいと考えている。今までの問題を考え、しっかりした事業プランを立てていきたい。責任の処遇については、皆様のご意見、評価にもしっかりと耳を傾けながらやっていきたいと思う。ただ、私自身JFLから強い気持ちでやってきて、J2昇格では大変うれしい気持ちだったが、まだJ1昇格という目標がある。それは皆様より強い気持ちは持っている。シャトルバスについてもおっしゃられる通り考えていかなければならない事であり、社内でも検討している。だが、全ての試合で実現できる事は現状難しいので、一つずつ達成できるよう改善できればと思う。

サポーターH：3年後より先の、10年、20年後愛媛FCはどういうスタイルでありたいのか。

愛媛FC亀井：地域に根ざした県民サッカークラブとして、愛媛県出身の選手が少しでも多くいるクラブでありたい。まだまだ歴史の浅いクラブですが、100年以上続くクラブに築き上げていきたい。そして、世界で活躍できるような選手を育てていきたい。そういったクラブを皆さんと一緒につくりあげていきたい。

サポーターH：その長期のプランに対して他のクラブと比べて何か行なっている事はあるのか。

愛媛FC亀井：他のクラブと比べると突出した所は正直はないが、今後は個性のある選手を、例えばGKを育てるのは愛媛FCが一番良いとか、FWの良い選手をどんどん出すクラブなど、特徴の有る育成をしていくことを考えていかなければならないと思う。

サポーター I : クラブ側が現在抱えている問題が、サポーターに見えてこない。サポーターは応援するだけでなく、他にもいろいろとサポートできる形があると思う。クラブが抱えている問題をお答え頂き、サポーターとクラブで手を取って解決できないか考えていきたい。どんなことでもやるので、クラブ側の見えない部分、抱えている問題というのを今ここで全て教えて欲しい。

愛媛 F C 亀井 : 今までもいろいろな所で発言してきたつもりである。また本日もこれまで言っているので、繰り返しにはなるが。

- ① チームを強化する為、またサポーターの要望に応える為の十分な資金がない。
- ② 行政の皆様から資本金を出して頂き、ご協力は頂いているが、まだまだご協力頂きたい。
- ③ スタジアムの立地の問題
- ④ フロントスタッフの人数の充実化
- ⑤ 選手達の専用の練習場
- ⑥ ユース以下の子供達の環境の整備
- ⑦ 子供達の育成を全市町で幅広くできていない事
- ⑧ 選手の補強
- ⑨ 専用スタジアムの確保

愛媛 F C 佐伯 : 資金不足。Jリーグに昇格して J2 リーグのクラブ平均の約半分の資金で何とかやってきた。今までがむしやりにやってきた結果、皆様に見せられてない部分も確かにあった。その資金の部分は J2 平均の 10 億円までもっていききたい。ただ、サポーターの皆様をお願いしたいのは、観客の増員を一緒にやっていきたい。観客が増えれば入場料収入なども増えてくるので、まずは観客を増やす事が全てのサイクルの最初になるのではないかと思う。

サポーター J : 09 シーズン 51 試合を 23 人でスタートしようとした理由は何だったのか。

愛媛 F C 亀井 : スポンサー収入などの減額で資金面の問題、また昨年までの人数から試合に出られない選手のモチベーションの問題などを考えながら、スターとさせた。まずは 23 人でスタートさせて、状況を見ていろいろと判断していこうと意思の統一はできていたが、結果的にこうなった事は大変申し訳なかった。

サポーター J : 黒字、赤字を気にしないで、一度おもいきった積極的経営を試みてはいかがなものか。

愛媛 F C 亀井 : 今の経済状況や現在のチーム力ではタイミングはよくないが、J1 昇格が見える順位になった時には思い切った経営をする時がくると思う。

サポーター J : キャプテンシーがとれるような選手がいないように感じる。どのように図っているのか。

愛媛 F C 佐伯 : 今年は三上が主将を務めているが、愛媛 F C の選手はなかなかそういったタイプの選手はいない。現在は柏から来た永井などが一番声を出して引っ張っていつている。

サポーター K : サポーター皆がどういった事をしているのか、ボランティアの方がどういった事をしているのか、見て欲しい。また、試合後に一度くらいは選手と一緒にゴール裏のサポーターの所へ挨拶に来て欲しい。

愛媛FC 亀井：全ての試合でできるかどうか分からないが、努力する。

サポーターL：社長、GM共に、集客ができていない理由を教えてください。

愛媛FC 亀井：フロントスタッフの人数が少なく、限界がある。広く宣伝する手段がホームページくらいしかなく、その広告ツールの少ない点が弱い。マッチシティ・マッチタウンなど他のクラブにない施策を行っているが、それがプラスになっているのか、今一度検証する必要があると思う。また、成績の低さも要因のひとつに挙げられる。

愛媛FC 佐伯：総合的に言えば、クラブに係わるスタッフ（フロントスタッフ、選手、監督、コーチ、アカデミースタッフなど）の努力不足であると思う。

サポーターL：私は毎試合ではないが、行く試合には必ず1名サッカーに興味のない人を連れて行くが、何故か根付かない。理由を聞くと、「おもしろくない」らしい。もっと初めて来た方が楽しめるような案がほしい。また、テレビ局の方へのお願いは、各局2試合ずつでも放送して、スタジアムへ来れない方へ見せてあげて欲しい。そこから必ずサッカーが根付くと思う。

サポーターM：次回の徳島とのダービーに向けての集客のアクションが少し遅いのではないかと、早く案を打ち出して欲しい。DJの盛り上げ方について、マスコットをうまく使った盛り上げ方をして欲しい。スタジアムの立地条件は甲府とほぼ変わらないので、いい案があるのではないかと。最後に本日の会の議事録を必ず公開して欲しい。

愛媛FC 亀井：議事録については、できる限り正確に公開する。また、皆様からも来られてない方にお話して頂けたらと思う。DJの件は皆様のご要望をお聞きしながら、スタジアムを盛り上げるような方法を考えていきたい。スタジアムで流す曲のリクエストをメールして頂いても構わない。

サポーターM：その他、選手達の悩みやケアなどもして頂けたらと思う。また、サポーターからの窓口についても開設して頂きたい。

愛媛FC 亀井：そのことについても努力していきたいと思う。

サポーターN：県民クラブという割には、他市町へのアピールは全然ないのではないかと。東予方面でのサッカー教室や、スーパーでのサイン会などを行ってみて頂けたらと思う。また、フロントスタッフの方に関しては、メールで問い合わせした事に対しての返答をすぐにお願したい。

愛媛FC 亀井：東予方面へはなかなか行けていないのが事実である。もう少し愛媛県下各地で選手などを向わせて教室などを行えるようにしていきたいと思う。メールの件は大変申し訳ないと思う。できるだけ早く返信するような体制を整えていきたい。内容によっては遅くなる事もあるのでご承知頂きたい。

サポーターO：お金がないなりにメディア戦略をもっと見直してみてもどうか。フリーペーパーに関して、近所のラックの補充など、私も協力するので、サポーターをもっとうまく使って協力し合ってやっていけないだろうか。

愛媛FC 亀井：私もフリーペーパーを持って移動するよう心がけたいと思う。また、メディア戦略に関しては、もう一度見直して、戦略を練ってみようと思う。

サポーターP：GMにお聞きする。今シーズンのスローガン、「E-S p i r i t」この通り、ひとつになって闘えているか評価をして欲しい。

愛媛FC 佐伯：昨シーズン後から、監督としっかりと話し合っ、ひとつになって闘っていこうという事でチームを作ってきた。評価というのは、第3クールを終えてからしたいと思う。第3クールは初心に戻ってもう一度ひとつになって闘っていい結果を出したいと思う。

サポーターP：これまでの望月監督に関する評価を教えてください。

愛媛FC 佐伯：この場では答えられにくい事ではあるが、答えられる範囲で答えると、第1クールに関しては監督の目指すサッカーができていた。第2クールに関しては運動量が落ちている。原因はトレーニングや環境の問題やその他いろいろ考えられる。結果が全てであるこの世界で、1勝しかできてない第2クールを見るとそれなりの評価になる。ただそれは、クラブ全体で考えて解決していかなければならず、全てが監督の責任にはできない。

サポーターP：私の個人的な意見ですが、今現状を変える一番の方法は、1日でも早く監督を変える事だと思う。

サポーターQ：現在ボランティアスタッフに登録しておりますが、ボランティアスタッフを増やす活動はされているか。

愛媛FC 佐伯：いつもお手伝い頂きまして、ありがとうございます。いろいろと声掛けは行っており、サマーボランティアや県庁や市役所の方々などにご協力頂いております。それが十分な人数であるかどうかは別として、毎試合20名近くの方々には来て頂いておりますので、これからもっともっとボランティアさんを増やして行って、運営費を落とし、強化費などを増やせていければいいと思う。

サポーターQ：集客について、大学生、専門学生などへの声掛けなど、どのように行っているか。

愛媛FC 佐伯：これまでも若い層のお客様を増やしたいという事で、学生バスツアーなどの企画を行ったり、知り合いの先生などのご協力で学園祭などへの参加もさせて頂いた。しかし、十分にできているとは思っていないし、皆様に十分伝わっているとは感じてない為、今後の検討課題であると認識している。

サポーターR：景気に関しては今後さらに悪くなると思うので、現状維持でどうしていくかを考えた方が良くと思う。

育成に力を入れて、バルセロナを理想としたチームをつくって欲しい。松山という事を考えてみて、個人的には愛媛FCは悪い状態だと思わない。むしろ松山で平均3,000名以上入っている興行だと考えると悪くはないと思う。

今後はNPOに近いものでもいいのではないかな。経営にそれほど影響を与えない程度で、地域貢献に重点を置いたクラブになっていってもいいのではないだろうか。

メディア戦略に関しては、愛媛FCとメディア同士で協力し合って一緒に愛媛を盛り上げていけばいいのではないだろうか。キャラクター3体とも、他クラブのサポーターに非常に人気であるし日本一人気であると言っても過言ではないので、もっとメディアを使ってアピールしていくべきではないだろうか。

愛媛FC 亀井：さまざまなご提案ありがとうございます。地域貢献やアピールに関してはマスコミの方々とタイアップしてやっていきたいと思うので、そのバックアップをお願いしたいと思う。

サポーターS：選手交代の際に、選手同士がタッチなどをして、もっと場を盛り上げる事などをお願いしたい。また、法人会員に入っているが、もっと周りに声掛けなどして、少しでも増やすような協力をしていきたい。あと専用スタジアムに関して、進める為にどの辺りに建てたいのか、その為に署名活動などが必要になるのか、など具体的な案を考えているのか教えて欲しい。

愛媛FC 亀井：選手交代に関しては選手個人の性格もあるが、できるだけやるよう話してみる。また、法人会員に関しては大変ありがとうございます。今後も引き続きよろしく申し上げます。スタジアムの候補に関しては、堀の内が理想的であるが、文化庁の持ち物であるので不可能のようである。あと、JR松山駅付近の駅裏の再開発地も理想的である。その他、南江戸の浄化センターなども理想である。また、松前町役場の裏の多目的グラウンドも一つ挙げられる。身勝手な発想ではあるが、こういった場所がアクセスの面などから見てもメリットがあり、候補に挙げられるのではないかと思う。

サポーターT：本日の社長、GMの発言から～したい～したいと言われているが、明確なアクションプランを提示して頂きたい。会社としてここにいるサポーターには全てをオープンにすれば、絶対に付いて来てくれると思う。文句を言いたくて来ているのではない。お客があれこれ言っているうちは救いがある。なので、絶対に応援するという気持ちがあると思うので、みなさんと力を合わせて頑張ってもらいたいと思う。意見のみ。

サポーターU：愛媛FCが好きでここに来ている。もっともっとサポーターを使って欲しい。サポーターに対するクラブの気持ちが欲しいし、見せて欲しい。是非とも一緒になって闘ってほしい。

(最後に)

社長の挨拶：皆様長時間ありがとうございます。もっともっとクラブから皆様に対し要望をいろんなかたちで行っていききたいと思う。9月13日の四国ダービーは徳島に負けたくないし、観客動員も負けたくない。そのつもりで我々は頑張ってもらいたいと思うので、是非皆様にも観客動員を含め、応援をして頂きたいと思っておりますので、何卒よろしくお願い致します。本当に長時間ありがとうございました。

以上